

岡山和牛子牛人工哺育マニュアル

	分娩5日齢	10日齢	30日齢	53日齢	60日齢	90日齢	120日齢	150日齢	180日齢	210日齢	240日齢
初乳 凍結初乳 初乳製剤	自然哺乳－母牛につける場合3日目朝親子分離、夕方から粉ミルクを給与。 凍結初乳－分娩後直ちに親子分離し、初乳を1リットル給与、6時間後に1リットル給与、2日目からは朝夕2回 初乳製剤－分娩後直ちに親子分離し、初乳製剤を規定量給与。										
代用乳 粉ミルク	親子分離－代用乳切り替え給与量 3日目……粉ミルク150g×湯0.9リットル×2回/日－朝・夕 4日目……粉ミルク200g×湯1.2リットル×2回/日－朝・夕 5日目……粉ミルク250g×湯1.5リットル×2回/日－朝・夕 子牛の生時体重が小さい場合は1日3回哺乳してください。										
人工乳 哺育飼料	500g 3リットルを2～3回に分けて給与 1.0kg 6リットルを2～3回に分けて給与 1.0kg 6リットルを2～3回に分けて給与 徐々に減らす60日で離乳 100g 0.6リットルを続け人工乳1日1kg以上摂取で離乳										
ハイキューブ 又はルーサン	哺乳後、口に入れてやり馴致する 0.2～0.6kg 0.6～1.0kg 1.0kg 1.5kg										
乾草	哺乳後、口に入れてやり馴致する 0.1kg 0.1kg 0.1kg 0.2kg 0.3kg										
育成用配合飼料	不断給餌 0.1kg 不断給餌 0.2kg 不断給餌 0.4kg 雌雄 0.6kg / 0.8kg 2.9kg / 3.0kg 3.4kg / 3.5kg 3.7kg / 4.0kg 3.8kg / 4.3kg 4.0kg / 4.5kg										
稲ワラ	1.0kg 1.0kg										
マニュアルの特徴	1 初乳給与の意義は子牛が病気にかからないため免疫グロブリンを獲得することにあります。母牛につける場合は2～3日程度(3日が限度)で朝親子分離、夕方から粉ミルクを与えます。分娩後直ちに離乳の場合、凍結初乳又は初乳製剤を含むミルクを与えましょう。 2 生まれてから3ヵ月までの発育が非常に重要で、この間の発育の遅れは、その後市場出荷(8ヵ月齢)までに取りかえすことは出来ません。 3 生後から離乳までは、赤ちゃん子牛としての十分な飼育管理、衛生対策が必要です。										
利用上の注意点	1 発育、給与量は目安で子牛の発育に応じ与えてください。 2 飼料の切り換えは1～2週間を目途に、切り換えてください。 3 残飼は必ず毎日取り除き、新鮮な飼料を給与してください。 4 新鮮な水は自由に飲めるようにしてください。 5 子牛は腹を冷やさないことが、病気の予防になります。(床乾燥、稲わらの敷料) 6 疾病は早期発見、早期治療で。										

	分娩5日齢	10日齢	30日齢	53日齢	60日齢	90日齢	120日齢	150日齢	180日齢	210日齢	240日齢
発育目安	雌	体高 (cm)	72	79	85	91	96	100	104	107	110
		体重 (kg)	27	45	70	90	120	150	185	220	250
		胸囲 (cm)	66	81	95	106	114	123	131	138	145
	雄	体高 (cm)	73	81	87	93	98	103	107	111	114
		体重 (kg)	32	50	75	100	130	160	195	230	270
		胸囲 (cm)	71	85	98	110	116	125	134	142	150

月齢別飼育ポイント	分娩	1ヵ月	2ヵ月	3ヵ月	4ヵ月	5ヵ月	6ヵ月	7～8ヵ月
	日常管理 ★分娩届 ★3日齢 鉄剤 ★7日齢 コクシウム薬(3日間) 子牛の状態をみながら下痢等あれば再投与	★分産届 耳標装着	★生産検査申込	★去勢 ★生産検査	★予防注射	★出荷申込 ★削蹄	★被毛・皮膚・蹄の手入れ	